

# 令和5年度 全国学力・学習状況調査の分析について

## 国語

### <よい内容>

- 目的や場面に応じて質問する内容を検討することができるかどうかをみる。
- 意見と根拠など情報と情報との関係について理解しているかどうかをみる。
- 話の内容を捉え、知りたい情報に合わせて効果的に質問することができるかどうかをみる。



### <課題のある内容>

- 文章を読んで理解したことなどを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりすることができるかどうかをみる。
- 文脈に即して漢字を正しく書くことができるかどうかをみる。
- 自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかどうかをみる。
- 文章の構成や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるかどうかをみる。

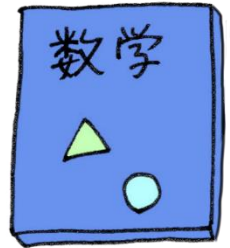
### <指導のポイント>

- 根拠を明確にして自分の考えをまとめる際には、自分の考えを支える根拠となる段落や部分などをあげるように指導する。授業の中で書く場面、やりとりや意見交流なども積極的に取り入れる。
- 具体的な場面や状況に基づいて考える語句の指導を工夫する。語彙を豊かにするために、多様な語句を目的や場面に応じて適切に使うことができるように指導する。
- 読書や新聞記事を読むことで、難しい漢字、知らない言葉に関心を持ち、辞書などを使い語句の意味や認識を深めさせる。

## 数学

### <よい内容>

- 累積度数の意味を理解している。
- 問題場面における考察の対象を明確に捉えることができる。
- 四分位範囲の意味を理解している。



### <課題のある内容>

- 数と整式の乗法の計算ができる。→基本的な計算の規則を理解できていない。
- 結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見だし、説明することができる。  
→統一的・発展的に考え、事柄の特徴を数学的な表現を用いて説明することができていない。
- 複数の集団のデータの傾向を比較して、判断の理由を数学的な表現を用いて説明できる。  
→データの分布の傾向を読み取って判断し、その理由を箱ひげ図の箱の位置や四分位範囲数などを用いて説明できていない。
- 与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取ることができる。  
→グラフの読み取りができていない。

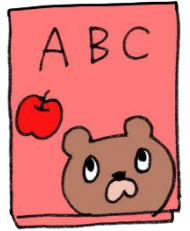
### <指導のポイント>

- 授業の中でも演習時間を多くとり計算方法を覚えるとともに、正確性や速度を向上させる。
- 用語や性質、定理、公式などの知識を身につけさせる。それによってただしく物事を捉え、正確な判断をできるようにする。
- 教え合いの時間を活用し、解法や性質の説明などを伝える練習をする。また、ともに考える中で他者の考えを聞き、自分に取り入れられるようにする。
- グループワークを活用し、資料を“見つける”、“まとめる”、“伝える”練習を重ねる。
- 身近な事例から生徒に疑問を持たせ、数学的に解決していくことでその有用性に気づかせると同時に興味関心を持たせる

## 英語

### <よい内容>

- 情報を正確に読み取ることができる。
- 日常的な話題について、必要な情報を聞き取ることができる。
- 日常的・社会的な話題について、短い文章の要点・概要をとらえることができる。
- 事実と考えを区別して読むことができる。



### <課題のある内容>

- 社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができる。
- 会話が成り立つように英文を完成させる。
- 依頼する表現を正確に書くことができる。
- 事実や自分の考えなどを整理し、まとまりのある文章を書くことができる。



### <指導のポイント>

- 全領域において、基礎的な学力の定着を図る必要がある。
- 日常的な内容だけでなく、社会的な内容に触れた学習を取り入れる。
- 短い英文だけでなく、まとまりのある文章を読み書きする機会や、自身の意見を理由と共に表現する機会を設定する。

## ※総評(生活面について)

- ・基本的な生活習慣が身につけている生徒が多いが、一方で生活が不安定で遅刻してくる生徒も多い。普段の家庭との関わりを大切にしたい。
- ・自己肯定感や人との関わりが良好ではないと感じる生徒が多い。引き続き、褒めて励ます指導や安心して生活できる学級・学校経営を学校全体で新たな取組を考えていきたい。
- ・学習時間の短さは、毎年の課題である。ただ、自分自身で計画を立てて学習するという習慣は、身につけている生徒が多く、塾や家庭教師に頼らず、主体的に学ぼうとする生徒が多い。また、「話し合いを生かす」ことができおらず、今後の授業や学校生活で充実させていきたい。
- ・地域の行事が好きな生徒が多く、周りの大人に見守られながら生活ができている。
- ・ICTについては、全国・県と比べて、その使用率で遅れをとっていることがわかった。生徒はICTへの興味関心が高いうえに、限られた時間でも工夫してまとめ作業などをおこなっている。指導者側の意識の改革が必要である